

GRANVIA



これからの1BOXは、こうなる。

GRANVIA

[グランビア]
誕生

Photo:3.0ディーゼルトーボ Q ツインムーンルーフ仕様車。ボデーカラーはマーベルグリーントーン2A2。
カウードリクスボイラー、クリアウインドソーラー&バックソーラー、電動カーテン、液晶タイプ5.1型後席テレビはメーカーオプション。







Photo: 3.0ディーゼルトーボ Q ツインムーンルーフ仕様車。ボデーカラーはマーベルグリーン・レーシング<2&2>。カラードリヤスポイラー、クリアランスソナー & バックソナー、電動カーテン、液晶タイプ5.7型後席テレビはメーカーオプション。

このクルマから広がる大きな夢を見てください。

「乗る人思いのやさしさを」すべてはここから始まりました。

乗降性や快適性を重視した

「最良のスペースユティリティ」。

「合理的かつ機能的なインテリア」。

「くつろぎに満ちたキャビンスペース」。



そしてIBOXのイメージを変える「卓越した走行性能」。

何よりも人を発想の原点に置いたその思想は、クルマを

形づくるあらゆる部分に貫

かれています。個々の生活

の中に、真のゆたかさを映

し出す良きツールとして、

次代のトランスポーターの

担い手としてBEST IBOXを

めざしたグランビア。このクルマを手にしたときから、

きっと、大きな夢が広がります。



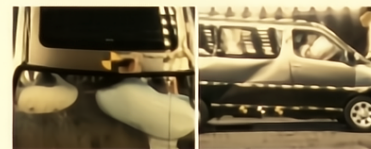
グランビアには、さまざまな分野にわたって

あたらしい主張や提案があります。

その基盤となるものが、クオリティに対する徹底した

こだわりです。目には映らない細部にまで高品質を

追い求める、つねに前向きな姿勢。



そうした地道な積み重ねから生まれた成果は、

「揺るぎない安全性の確立」「環境への配慮」といった

今のクルマ社会が抱える大きなテーマにも波及しています。

みなさんがいつの日にも安心してお乗りいただくために。

そして、人とクルマのより良い関係を保つために。

グランビアは、すべてのIBOXにとって

つねに最良の規範であり続けます。



目には映らないこだわりを見てください。



※写真は撮影時のためこのページのイメージと異なる場合があります。



10-11ページの写真はすべて3.0ディーゼルのボク Q フォインムーンルーフ仕様車。ボクカラーはマールグリーン・ニング(2AZ)。内装色はブルー・イッシュグレー、カワード・ヤスガイラー、クリアランス・ソナー・バック・ソナー、電動カーテン、グランビ・スーパー・タイプ・サウンド・システム、センター・コンソール・ボックス、液晶タイプ6.7型後席テレビはメーカーオプション。

快適の上をゆく、快適さ。

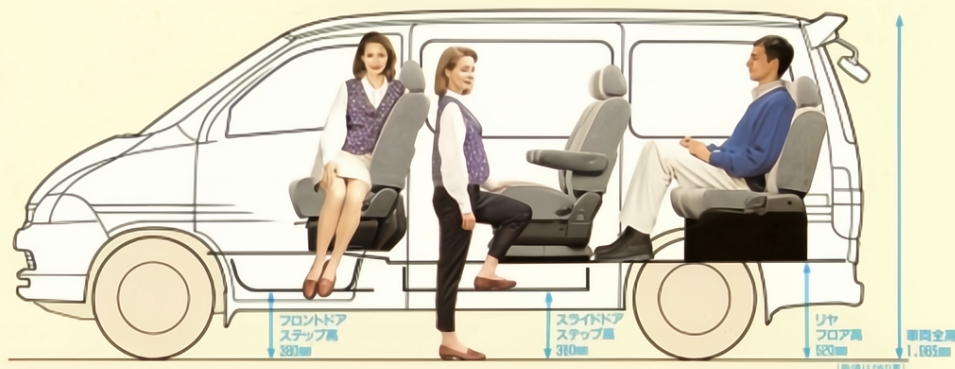
その乗降性の良さに、きっと驚かれるかもしれません。

そしてその室内空間に接したならば、さらに驚かれるかもしれません。

スタイルメリットをフルに活かしたルーミーなキャビンに、多彩なシートアレンジ。

使いやすさがすみずみにゆきわたる、乗る人思いのパッケージングです。

これからの1BOXがめざすべき、最良のスペースユーティリティがここに 있습니다。



スペースユーティリティ

新開発の独立懸架リアサスペンションにより、低くフラットなフロア。しかも室内幅もたっぷりあってワイドな解放感あふれるスペースを創りあげました。また前輪のホイールハウスが運転席よりも前方にあることに加え、シート配置の最適化やステップを低く抑えることで、フロントリヤ席とも自然な姿勢で、スムーズな乗降を可能にしています。



ウォークスルー (Qグレード)

フロントシートからサードシートまで移動できる自由な室内。家族で仲間、楽しいひとときをお過ごしください。

（安全のため、走行中の移動は厳禁です。）



スーパースペースアップシート

サードシートは最大スライド長945mm。さらに、自由なシートアレンジを生むサードシートクッションの収納には、はね上げ機構を採用。ビッグなラゲージスペースをつくり出しています。

シートアレンジメント

7 PERSONS (Qグレード)

Photo: 3.0ハイゼンターボ G、内装色はブルー/メタリック、リアアシストシートもバックリナー、アシストアップ/アシストダウン、センターコンソール収納ボックス、メーカーオプション。



MODE
①



MODE
②



MODE
③



MODE
④



MODE
⑤

8 PERSONS (Gグレード)

Photo: 3.0ハイゼンターボ G、内装色はブルー/メタリック、



MODE
①



MODE
②



MODE
③



MODE
④



MODE
⑤

MODE ①：コミュニティ型。Qグレードは7人乗り、Gグレードは8人乗りのベシクレイアウトです。

MODE ②：全席フルフラット（キング、オールフラット）が可能です。安全のため、走行中に人や荷物を移動させて走行しないでください。

MODE ③：セカンドシートを回転、向ったり心置きなくくつろげる対面シートが可能です。

MODE ④：サードシートクッションをアップアップ、セカンドシートのレッグスペースを確保しつつ、余裕のラゲージスペースをつくり出します。

MODE ⑤：サードシートクッションをアップアップ、セカンドシートを前方にスライドさせることで、さらにワイドなラゲージスペースが生まれます。

■写真は機能説明のために各グレードの一部を省略したイメージです。

いま考える最善の配慮を。

トヨタは、みなさまがグランビアに安心して乗っていただけるよう、安全に対する徹底した追求を行っています。

事故を未然に防ぐためのアクティブセーフティ（予防安全）、万一の事故の際、そのダメージを最小限に抑えるパッシブセーフティ（衝突安全）。

この二つの側面からさまざまな装備、技術を採用しています。

しかし、クルマを安全にお乗りいただくためには、みなさまの安全への心配りが最も大切だということもご理解いただきたいと思います。



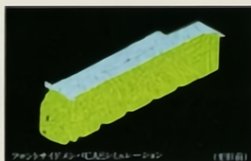
デュアル SRS エアバッグ（運転席・助手席SRSエアバッグ）〈全車に標準装備〉

SRS（乗員保護補助装置）: Supplemental Restraint System

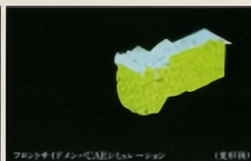
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置ですので、必ずシートベルトを着用ください。万一の事故の際、前方からの強い衝撃に対して作動し、シートベルトの動きと合わせて、ドライバーおよび助手席乗員の頭や顔を保護します。なお、SRSエアバッグは衝突時の衝撃が弱い場合は作動しないことがあります。



フロント・メンバー



フロント・メンバー（CAEシミュレーション）



リア・メンバー（CAEシミュレーション）

フレーム構造の最適化

万一の衝突の場合に、乗員の安全を確保するためには、車体の変形を抑えつつ、いかに効率的に衝突エネルギーを吸収するかがポイントとなります。そのためにCAE*シミュレーションを駆使し、さまざまな検討を加え、フレーム構造の最適化を図りました。

*CAE (Computer Aided Engineering) : 企画設計段階から開発・評価・生産準備までの製品開発の各ステップにコンピュータを適用し、設計品質の向上と総合的な開発期間短縮を図った技術。



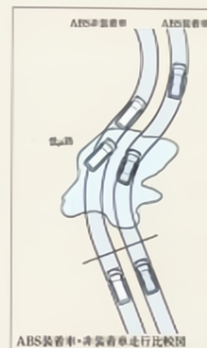
アクティブセーフティ——予防安全の視点から

安全運転は、クルマ・ドライバー・交通環境、それぞれの役割がお互いを補うようにうまく噛み合って初めて実現します。とに事故の発生を未然に防ぐという、予防安全の視点に立った場合、ドライバーの役割は重要で、その場合、クルマはドライバーの安全運転への意志をいかにサポートし、応えるかという点を大切にしたい安全性能が必要とされます。〈安全走行〉を支える基本性能、〈事故予防〉のための車内の運転環境、そして〈事故回避〉に必要な緊急回避運動性能。これらがグランビアのアクティブセーフティを構成します。



ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）〈全車に標準装備〉

制動時に4輪のブレーキ油圧をコンピュータ制御することで、車輪のロックを防止。このため、滑りやすい路面での制動時や急減速時の急制動時でも、車両安定性と操舵性を確保し、ドライバーを支援します。



- a) 運転席シートベルト紛失警告灯
- b) A/Tキーインターロック式シフトロックシステム
- c) クリアランスソナー
- d) バックソーナ
- e) LED式ハイマウントストップランプ

*装備の詳しい設定は25ページの「主要装備一覧表」をご覧ください。

パッシブセーフティ——衝突安全の視点から

万一事故が発生した場合、クルマが果たすべき大きな役割は乗員保護（乗員保護）の二つです。〈乗員保護〉については、安全なキャビンスペースの確保と、衝突の衝撃による客室との二次的衝突から乗員を保護する、という考えから成り立っています。次に〈乗員保護〉では、乗員の車両からの速やかな脱出・救出に力点が置かれます。このほか、〈歩行者や二輪車乗員の保護〉への配慮も必要となります。グランビアのパッシブセーフティは、これらさまざまな側面から安全性の高さを追求したものです。



サイドドアビーム
（写真は説明のためのイメージです。）



ボデー構造

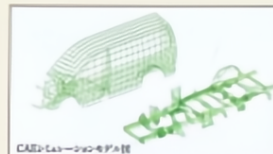
万一の衝突時、キャビンへのダメージを最小限に抑えるために、ボデーの前面・後面は、衝突時の衝撃荷重をできるだけ吸収すると同時に、衝撃荷重をボデー骨格全体に効率的に分散させる働きをする合理的な衝撃吸収構造としました。またサイドドアビームの採用やサイドビルの補強を行うなど、さまざまな状況において高い衝突性能を確保するために、多角的な取り組みがなされています。

環境への配慮

構造・材質見直しなど徹底した車両軽量化をはじめ、将来的な視野に立ち、廃棄時などにおける分別・回収を考慮。樹脂部品やゴム部品への材質のマーキングなどを実施しました。また例えばインストルメントパネルと空調ダクトは、同材質の樹脂とした上で、その組み付けには金属スクリーン・クリップなどを用いない結合方法（振動溶着）を採用。さらにバンパーには、トヨタスーパーオレフィンポリマーというリサイクル性に優れた新素材を採用するなど、さまざまな分野で、資源・リサイクルに積極的に取り組んでいます。

ボデーの軽量化について

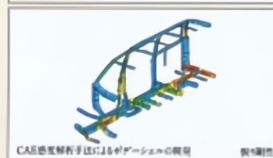
CAE*シミュレーションを駆使してボデー質量の削減を実現しました。また強度や耐久性の確保を前提としながら、市販方法やパーツの一体成形など、軽量化への試みは断続的に進められています。



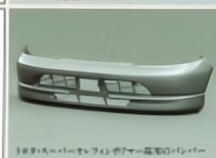
CAEシミュレーションモデル図



リサイクルを考慮した部材材料



CAEシミュレーションによるボデー軽量化の図解



強度確保

トヨタスーパーオレフィンポリマー（リサイクル樹脂）の採用

コンフォートクルージングへの意思。

大切なゲストと、たくさんの夢をのせて、より快適に、より安全に。

その思いは、このクルマの走りを司るさまざまな部分に活かされました。

さまざまな路面、天候での走行安定性。そして快適なクルージングをお約束する静粛性。

1BOXの走りへのイメージは、このグランビアから、きっと変わると思います。

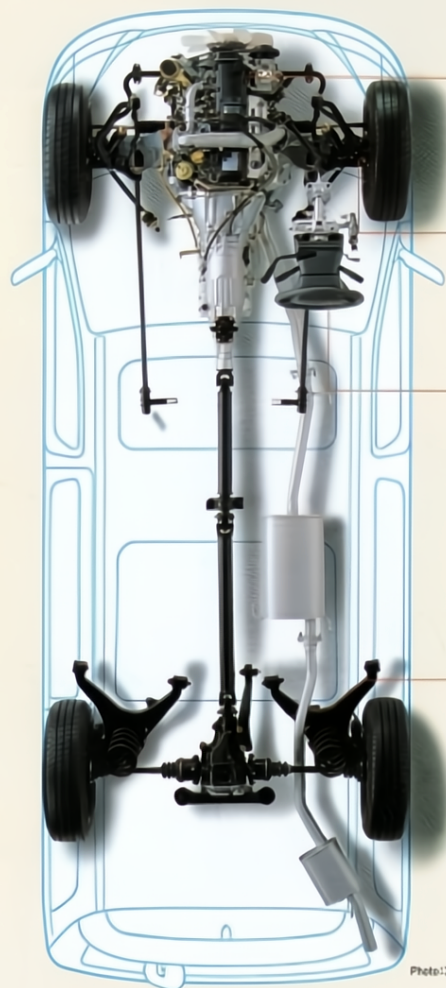


Photo: 3.0ディーゼルトーボ2WD車のベースシャーシ。

エンジンレイアウト

パワーユニットの配置は、居住性を十分に考慮。独立したフロントノーズ内に効率よくマウントすることで、運転席からサードシートまでフロアをフラットにしています。

Front:ダブルウィッシュボーン式サスペンション
旋回性能、レーンチェンジ性能、直進性、横風安定性、乗り心地、制動時の車両姿勢など、フットワークに求められるさまざまな特性を高次元でバランスさせるために精密なチューニングを重ねました。また同時に、大幅な軽量化も図られています。

ステアリング

クック&ビニオンによるシャープなハンドリング、ロングホイールベースながら小回り性にも優れています。さらに、よりダイレクトな操舵フィードバックを求めて、ステアリングシャフトは2ジョイント方式を採用。また乗員の二次的衝突を配慮してコラム・ストローク構造としました。

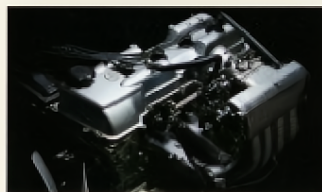


Rear: セットレイン・アーム式独立懸架サスペンション
アーム形状の工夫などによって低床化を実現する一方で、サスペンションストロークや、ジオメトリの最適化などによるコミュニケーション・フィードバックを、乗り心地はもちろん、高速直進性、旋回性能、ロールフリーリング、そのいずれもが高い水準で結実しています。



LASRE 1KZ-TE EFI DIESEL TURBO

3.0L・OHCディーゼルトーボ。アルミ製シリンダーヘッド、ギヤとタイミングベルトを組み合わせたタイミングトレインを採用した軽量でコンパクトな設計です。ターボチャージャー、EGRによるハイパワー化と低燃費や排ガス浄化を実現。さらには振動・騒音の低減をも果たすなどターボバランスに優れたユニットです。



LASRE α-Ⅱ 3RZ 16VALVE EFI

2.7L・16バルブDOHC。タクロスフローの吸排気レイアウトです。独立吸気ポートにより、吸排気の高効率化を実現。またバランスシャフトの採用やシリンダーブロックなどの高剛性化により、静粛性の向上に貢献しています。さらに各部の材質も十分に吟味するなど、ユニット全体の信頼性を高めています。

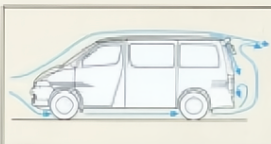


フルタイム4WD

駆動力を効率良く4輪で路面に伝え、路面状況や走行状態に即応し、安定した走々を実現するセンターデフ方式のフルタイム4WDです。センターデフの差動制限装置にはビスカスカップリングを採用しています。ビスカスカップリングは万一、ぬかるみなどで4輪のうち1輪が空転したような場合でも、駆動力を適切に配分し、脱出を容易にします。



Photo: 2.7 ツインカム16バルブ仕様車。ボデーカラーのナイトフォレスト・ニング(2SA)、電動カーテン、電動スライドドア、アルホイールはメーカーオプション。



空力性能

空力特性に優れたフォルム。さらに全車にメーカーオプションのエアロダイナミクスカラーは、スーパースポーツの空気を流れるリヤウインドウ面に導き、ウインドウ面への汚れの付着を抑え、後方視界を確保します。



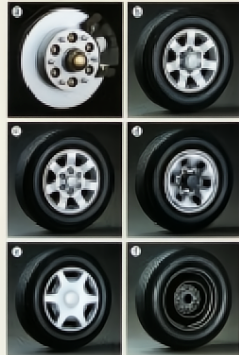
エンジンルームのサービス性

エンジンオイルやバッテリー、ウォッシュタンクといった、日頃、点検やメンテナンスが頻繁に行なわれるパーツ類はエンジンルーム集中配置。サービス性を十分に配慮しました。



電子制御式4速オートマチック(ECT)

エンジンのパワーを効率的に引き出しながらスムーズな走り滑らかな変速フィーリングを得ることができる先進のシステムです。コンピュータが変速タイミングからロックアップまでをきめ細かく制御。走行パターンは状況や好みに応じてノーマルとパワーのいずれかを選択できます。



- a) フロントベンチレーテッドディスクブレーキ
- b) 215/70R15 98S スチールラジアル+15x6.1Jアルホイール
- c) 205/70R15 95H スチールラジアル+15x6.1Jアルホイール
- d) 215/70R15 98S スチールラジアル+15x6.1Jアルホイール
- e) 205/70R15 95H スチールラジアル+15x6.1Jアルホイール
- f) アルホイールキャップ
- g) スペアタイヤ



Photo:12.7Q 7人乗用バン。ボディカラーはフォレストグリーンメタリック(6P)。カラードリアスボイラー、タリアシンスーパー・バックソナー、電動カーテン、(P)オーディオナビゲーションシステム付マルチAVステーション、選品タイプ。1型後席テレビ、電動スライディングドアカーブアシスト。

Q 2WD

2.7 16VALVE EFI/3.0 DIESEL TURBO



Photo:4WD 3.0ディーゼルターボ Q、ボディカラーはプラチナムシルバーメタリック(2P)。タリアシンスーパー・バックソナー、電動カーテン、タランビオ・スーパーライブサウンドシステム、選品タイプ。1型後席テレビ、センターコンソールボックスはメーカーオプション。

Q 4WD

3.0 DIESEL TURBO





G 4WD

3.0 DIESEL TURBO

Photo: 4WD 3.0ディーゼルトーボG。ボデーカラーはブルーインシュクレメタリック(1R2)。アルミホイール、電動格納式リモコンカラードアミラー、カラードリヤスボイラー、クリアランスソナー＆バックソナーはメーカーオプション。



G 2WD

2.7 16VALVE EFI/3.0 DIESEL TURBO

Photo: 2.7 G フインムーンルーフ仕様車。ボデーカラーのナイトフォレストトローニング(2B4)。アルミホイール、電動カーテン、電動スライドドア、センターコンソールボックスはメーカーオプション。



Dealer Option



1) フロントスポイラー 2) アラジンダバムル 3) ナイロバイザー(3.0V4.0V4.0V) 4) フアハンパルロクター 5) スライドアープ(デザイン7)



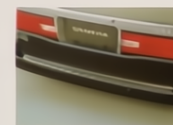
ナイロバイザー



アラジンダバムル



フアハンパルロクター
(2.7 16V 3.0 16V 3.0 16V)



スライドアープ



リヤ大壁マッドガード



バックドアガード



リヤバンパープロテクター



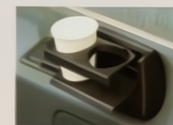
リヤラダー



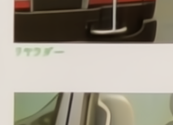
センターコンソール



インパネラッドコンソール



カップホルダー



リヤラダー



オーディオシステムナビゲーション



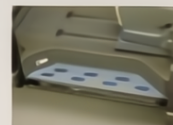
SWAYコントロール



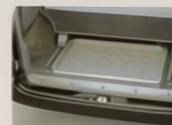
電動カーテン(オプション)



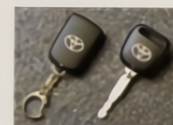
リヤアシッドアップ



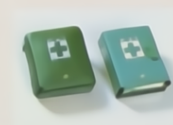
サイドステップガード



ラダー



リヤアシッドアップ(オプション)



リヤアシッドアップ(オプション)

■ この車は、燃費は実燃費に準拠して表示されています。燃費は、燃費表示装置に表示されます。

※ 1. 燃費の値は、燃費表示装置に表示されます。燃費は、燃費表示装置に表示されます。燃費は、燃費表示装置に表示されます。



あなたのカーライフ・パートナー

スピードはひかえめに。シートベルトは忘れずに。

本仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。
(このカタログの内容は'96年4月現在のもの)。ポデーカラー
および内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは
異なって見えることがあります。

このカタログに関するお問い合わせは、
お近くのグランビア取扱い販売店
または下記のお客様相談センターへ

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

全国共通・フリーフォン ☎0070-800-778899

所在地 〒461 名古屋市東区泉一丁目23の22

オープン時間 月曜～金曜(除く祝祭日)

9:00～12:00 13:00～17:00

AT0012/9804

人へ。社会へ。地球へ。  TOYOTA

森林資源保護のため再生紙を使用いたしました。